

運動やスポーツに関する市民アンケート結果について

性別・年代グループ別の回答率比較

1. はじめに

2022年度における宗像市の現状は、人口97,204人、7歳未満は5,959人、高齢化率は30.3%、65歳以上の介護認定率は13.8%、メタボリックシンドローム該当者は、男性524人、女性203人で、予備軍は男性295人、女性106人でした。

運動やスポーツを活用した健康寿命の延伸のための第3期宗像市スポーツ推進計画の作成参考資料として、市民協働部文化スポーツ課が市民の意識アンケート調査を行いました。

その回答データを分析しましたので報告します。

2. 方法

2024年1月30日から2月29日までの31日間、アンケート用紙とインターネット（以下：ネット）による回答をいただきました。

アンケートの対象者は合計3,000人で、各年代の対象人数を表1に、回答者数と回答率を表2に示しました。

表1 年代別対象者数

年代	対象者数(人)
18、19歳	200
20歳代	500
30歳代	500
40歳代	500
50歳代	500
60歳以上	800
計	3,000

表2 年代別回答者数と回答率

年代	回答者数(人)	回答率(%)
18、19歳	23	11.5
20歳代	78	15.6
30歳代	115	23.0
40歳代	128	25.6
50歳代	140	28.0
60歳以上	278	34.8
計	784	26.1

統計分析のために、18・19歳と20歳代と30歳代を青年(216人)、40歳代と50歳代を中年(268人)、60歳以上を高年(278人)の3グループに、地区を宗像(672人)と玄海(53人)の2グループに、方法を紙(480人)、ネット(245人)の2グループに分けました。

統計分析の対象者は、性別・年代・地区をすべて回答している725人としてしました。

性別年代グループ別の人数を表3に示しました。

表3 性別年代グループ別回答者数

	青年	中年	高年	計
女性	129	151	111	391
男性	75	109	150	334
計	204	260	261	725

市の性別・年代の人数は、市のオープンデータサイトから宗像市人口統計(公称町・大字等別)(福岡都市圏共通フォーマット)最終更新2021年5月10日を使用しました。

性別と年代の人数適合度の検定は、Excel関数CHISQ.TESTを使用しました。

群間比較はEZR¹⁾を使用し、フィッシャーの直接確率検定を行いました。EZRはRおよびRコマンドの機能を拡張した統計ソフトウェア²⁾(無料)です。

有意水準は5%としました。5%未満のP値は表内に赤字、指数E表記で示しています。

3. 結果

人口97,204人のうちの約3%が抽出され、回答率は人口の0.8%でした。

アンケート回答数の市人口統計との適合性検定を行うために、青年グループから20歳未満(21人)と高年グループからその他(12人)を引きました。

また、人口統計の高年区分は60歳以上80歳未満としました。性別人口は2021年5月10日更新の人数を使用しました。

性別適合検定のカイ二乗P値は0.102でアンケートの男女

分布は市統計の男女分布と一致しました。

表4 アンケートと市統計の男女人数

実測	男性	女性	計
アンケート	334	391	725
市統計	46,511	50,602	97,113
計	46,845	50,993	97,838

年代グループの適合検定のカイ二乗 P 値は 0.327 でアンケートの年代分布は市統計の年代分布と一致しました。

表5 アンケートと市統計の年代グループ人数

実測	青年	中年	高年	計
アンケート	183	260	249	692
市統計	19,844	24,004	22,074	65,922
計	20,027	24,264	22,323	66,614

対象者の比率を比較し、フィッシャーの直接確率検定の P 値を表6に示しました。

性別-年代、年代-方法、地区-方法で有意な差が認められました。高年と青年、高年と中年で性別と方法に差が認められました。

年代	女性	男性	ネット	紙
青年	129	75	109	95
中年	151	109	107	153
高年	111	150	29	232
		玄海	10	43
		宗像	235	437

表6 対象者の比率比較 (P 値)

	性別	年代	地区	方法
性別	-	1.25E-05	0.568	0.157
年代	***	-	0.111	2.20E-16
地区	-	-	-	1.60E-02
方法	-	***	*	-

*** : P<0.001 ** : P<0.01 * : P<0.05

- : N.S.

性別	青年	高年	方法	青年	高年
青年	-	3.20E-05	青年	-	2.00E-16
中年	0.879	1.40E-03	中年	0.033	3.90E-14

各種目の経験や興味について、性差、年代差を確認し表7に示しました。

NULL は、EZR でフィッシャーの直接確率検定 P 値の計算値が表示されなかったことを表しています (以下同様)。

性別年代共に差が認められた種目は、サッカー、バレーボール、柔道、体操・新体操でした。

表7 各種目のフィッシャーの直接確率検定 P 値

種目	性別	年代
陸上競技	0.889	1.85E-02
ウォーキング	NULL	NULL
マラソン等	4.91E-04	NULL
野球	1.15E-28	0.053
サッカー	1.57E-11	1.23E-02
テニス	0.094	NULL
バウンドテニス	0.465	0.242
バスケットボール	0.599	1.79E-04
バレーボール	7.11E-03	2.79E-02
水泳	0.145	NULL
ラグビー	2.68E-09	0.846
アメフト	0.082	0.365
卓球	0.367	NULL
バドミントン	1.99E-07	NULL
ハンドボール	0.601	0.095
ドッジボール	0.106	0.082
柔道	8.24E-07	8.78E-03
剣道	4.57E-05	0.301
空手	2.60E-04	0.057
弓道	0.457	0.093
アーチェリー	0.644	0.355
レスリング等	0.679	0.341
フェンシング	0.474	0.515
なぎなた等	1	6.68E-03
テコンドー等	3.45E-02	0.274
体操・新体操	1.59E-02	3.96E-02
ダンス	2.34E-08	NULL
ボクシング等	0.478	4.00E-02
ゴルフ	NULL	NULL
ゲートボール	0.065	0.623
グラウンドゴルフ	0.160	1.04E-02

ウェイトリフティング	1.57E-02	0.465
自転車等	4.66E-03	NULL
ボウリング	0.546	NULL
乗馬	0.167	0.080
マリンスポーツ	1.03E-02	0.052
ヨガ・エアロビ	NULL	NULL
ホッケー	0.446	0.350
アイススケート等	0.801	0.154
スキー等	0.091	NULL
スケートボード	0.137	0.177
登山	NULL	NULL
クライミング	0.874	2.94E-02
ボッチャ	0.445	0.578
モルック	0.355	0.627
釣り	NULL	NULL

今後始めたい興味がある運動・スポーツで回答した割合が5%以上の種目を太字下線で表8に示しました。

性別年代すべてで5%以上を示した種目はウォーキングでした。男女ともでは、ウォーキング、マラソン、自転車、登山でした。青年中年では、ウォーキング、マラソン、テニス、水泳、バドミントン、ダンス、自転車、乗馬、マリンスポーツ、ヨガ・エアロビクス、登山でした。高年ではウォーキングだけでした。

表8 各種目の今後始めたいと回答した割合

種目	女性	男性	青年	中年	高年
陸上競技	1.5	1.8	1.5	1.9	1.5
ウォーキング	<u>16.8</u>	<u>10.2</u>	<u>9.8</u>	<u>16.3</u>	<u>14.6</u>
マラソン等	<u>6.4</u>	<u>6.0</u>	<u>6.4</u>	<u>9.6</u>	2.7
野球	1.8	3.3	4.0	1.9	1.9
サッカー	0.8	2.1	1.5	1.9	0.8
テニス	<u>5.4</u>	3.6	<u>5.0</u>	<u>6.9</u>	1.9
バウンドテニス	2.6	1.2	2.0	3.1	0.8
バスケットボール	1.8	3.0	3.5	2.7	1.1
バレーボール	3.4	2.4	<u>5.4</u>	3.1	0.8
水泳	<u>7.2</u>	4.8	<u>5.9</u>	<u>7.3</u>	4.9
ラグビー	1.5	2.4	2.0	2.3	0.0
アメフト	0.8	2.1	2.0	1.5	0.8
卓球	<u>5.4</u>	2.4	3.9	<u>6.2</u>	1.9
バドミントン	<u>9.5</u>	3.0	<u>10.8</u>	<u>8.5</u>	1.2

ハンドボール	1.3	1.8	3.4	1.6	0.8
ドッジボール	1.3	1.5	2.5	1.5	0.4
柔道	1.0	1.8	2.9	0.8	0.8
剣道	0.5	1.8	2.0	1.2	0.0
空手	1.5	2.1	3.4	1.9	0.4
弓道	3.9	2.4	4.4	4.6	0.8
アーチェリー	2.1	1.5	3.0	1.9	0.8
レスリング等	0.8	1.5	1.5	1.2	0.8
フェンシング	0.5	1.5	1.5	1.2	0.4
なぎなた等	2.8	3.0	4.4	3.8	0.8
テコンドー等	2.3	3.3	2.9	3.8	1.5
体操・新体操	1.8	2.1	3.4	1.9	0.8
ダンス	<u>10.0</u>	3.0	<u>10.8</u>	<u>8.1</u>	2.3
ボクシング等	2.3	3.9	4.9	3.8	0.8
ゴルフ	2.9	4.5	4.9	3.5	2.7
ゲートボール	0.3	1.8	0.5	1.5	0.8
グラウンドゴルフ	2.0	3.6	2.0	2.7	3.4
ウェイトリフティング	0.5	1.5	1.5	1.2	0.4
自転車等	<u>5.6</u>	<u>6.6</u>	<u>6.9</u>	<u>7.7</u>	3.9
ボウリング	<u>5.1</u>	3.9	3.9	<u>6.5</u>	3.0
乗馬	<u>6.6</u>	3.6	<u>7.4</u>	<u>6.2</u>	2.7
マリンスポーツ	<u>5.4</u>	3.0	<u>6.4</u>	<u>5.0</u>	1.9
ヨガ・エアロビ	<u>15.7</u>	3.0	<u>11.3</u>	<u>13.9</u>	4.6
ホッケー	0.5	1.5	1.5	1.2	0.4
アイススケート等	2.1	1.5	3.9	1.2	0.8
スキー等	4.4	3.6	<u>8.3</u>	3.9	0.8
スケートボード	1.8	2.4	3.4	2.3	0.8
登山	<u>7.2</u>	<u>5.4</u>	<u>5.9</u>	<u>8.5</u>	4.5
クライミング	2.8	3.3	4.4	4.2	0.8
ボッチャ	1.3	2.1	1.0	2.7	1.1
モルック	2.6	3.0	3.4	3.1	1.9
釣り	3.2	<u>8.4</u>	<u>8.4</u>	4.3	4.6

運動やスポーツを行う理由の選択率において性差を表9に示しました。

女性で大きい理由は、運動不足解消、美容・ダイエット、男性で大きい理由は、心身の修行・鍛錬、地域での交流でした。

表9 理由選択率性差

理由	女性	男性	P 値
健康・体力づくり	71	78	0.050
楽しみ・気晴らし	62	61	0.760
家族のふれあい	10	11	0.709
友人・仲間との交流	27	33	0.061
運動不足解消	60	48	1.28E-03
競技で勝ち負けを競う	3	6	0.107
競技で記録に挑戦	2	4	0.182
美容・ダイエット	34	10	7.66E-16
心身の修行・鍛錬	5	12	1.95E-04
地域での交流	3	9	1.18E-03

運動やスポーツを行う理由の選択率の年代差を表10に示しました。

高齢者で小さい理由は、楽しみ・気晴らし、家族のふれあい、美容・ダイエットでした。大きい理由は、健康・体力づくり、地域での交流でした。

表10 理由選択率年代差

理由	青年	中年	高年	P 値
健康・体力づくり	68	75	79	3.11E-02
楽しみ・気晴らし	69	63	54	3.60E-03
家族のふれあい	13	14	4	6.25E-05
友人・仲間との交流	30	23	36	5.20E-03
運動不足解消	53	54	56	0.812
競技で勝ち負けを競う	6	4	4	0.608
競技で記録に挑戦	3	3	3	0.887
美容・ダイエット	35	29	7	3.82E-15
心身の修行・鍛錬	9	8	8	0.899
地域での交流	3	5	9	2.02E-02

運動やスポーツを行う（始める）ことができる条件の選択率の性差を表11に示しました。

女性で大きいのは、生活費に余裕、託児機能が整う、家事育児が軽減、指導者が身近に、気軽に参加できる でした。

男性で大きいのは、休暇が増えれば でした。

表11 条件選択率性差

条件	女性	男性	P 値
勤務時間が短く	21	26	0.112
休暇が増えれば	29	37	2.10E-02
費用が安くなれば	36	30	0.097
生活費に余裕	32	21	1.78E-03
近くに施設が整備	37	37	0.938
職場の環境が充実	5	6	0.514
託児機能が整う	7	3	4.33E-03
公共施設が優先的	4	7	0.049
屋根付きの屋外施設	18	15	0.320
家事育児が軽減	21	5	3.75E-10
指導者が身近に	13	7	4.83E-03
一緒に活動する仲間	26	27	0.735
家族の理解	5	6	0.749
多種多様な環境	16	15	0.683
気軽に参加できる	32	13	1.23E-09

運動やスポーツを行う（始める）ことができる条件の選択率の年代差を表12に示しました。

高年で小さいのは、勤務時間が短く、休暇が増えれば、費用が安くなれば、生活費に余裕、職場の環境が充実、託児機能が整う、公共施設が優先的、家事育児が軽減、家族の理解でした。

表12 条件選択率年代差

条件	青年	中年	高年	P 値
勤務時間が短く	37	32	3	1.57E-24
休暇が増えれば	50	44	7	1.43E-31
費用が安くなれば	35	40	25	4.48E-04
生活費に余裕	36	35	12	4.41E-12
近くに施設が整備	43	36	33	0.097
職場の環境が充実	11	6	1	2.80E-06
託児機能が整う	15	3	0	7.36E-13
公共施設が優先的	9	4	5	3.75E-02
屋根付きの屋外施設	19	15	17	0.653
家事育児が軽減	24	18	1	1.16E-17
指導者が身近に	8	12	11	0.507
一緒に活動する仲間	32	24	24	0.103

家族の理解	10	6	2	1.27E-04
多種多様な環境	12	17	17	0.202
気軽に参加できる	16	26	26	1.10E-02

運動やスポーツをおこなう環境についての満足率とその有意差を表 13 に示しました。

性別に有意な差は認められませんでした。

高年の満足率は、青年中年に比べ大きい値を示しました。

表 13 環境について満足率と性差

種目	女性	男性	性差	
実施する環境	24	29	0.253	
学べる環境	14	12	0.644	
楽しめる環境	18	17	0.677	
	青年	中年	高年	年代
実施する環境	23	24	30	NULL
学べる環境	11	9	19	NULL
楽しめる環境	16	15	20	NULL

日頃どのような場所で運動やスポーツを行っているかの選択率の性差を表 14 に示しました。

差が認められたのは、市内学校の運動場など、市内の公共施設、行っていない でした。

表 14 どのような場所で回答率性差

場所	女性	男性	P 値
市内公共スポーツ施設	14	14	0.914
市内学校の運動場など	3	6	2.45E-02
市内の公共施設	10	6	4.27E-02
市内民間スポーツ施設	11	10	0.715
市外のスポーツ施設	7	10	0.220
最寄りの公園、広場など	38	43	0.150
登山道など	8	11	0.373
自宅	27	23	0.264
行っていない	26	17	8.78E-03

日頃どのような場所で運動やスポーツを行っているかの選択率の年代差を表 15 に示しました。

高年が大きい場所は、市内の公共施設、小さい場所は市外のスポーツ施設でした。

表 15 どのような場所で回答率年代差

施設	青年	中年	高年	P 値
市内公共スポーツ施設	14	13	15	0.832
市内学校の運動場など	5	5	3	0.534
市内の公共施設	5	4	15	1.30E-05
市内民間スポーツ施設	8	12	11	0.447
市外のスポーツ施設	13	8	5	3.65E-03
最寄りの公園、広場など	41	38	43	0.430
登山道など	9	8	11	0.416
自宅	30	20	27	2.71E-02
行っていない	23	26	17	2.30E-02

過去 2 年間でどのスポーツ施設を使用したことがあるかの選択率の性差を表 16 に示しました。

性差が認められたのは、小中学校の運動場など、宗像中央公園でした。

表 16 過去 2 年間の使用施設回答率性差

施設	女性	男性	P 値
市民体育館	12	9	0.226
勤労者体育センター	2	2	0.795
玄海 B.G 海洋センター	4	3	0.684
小中学校の運動場など	5	10	2.14E-02
宗像ユリックス	31	34	0.473
アクアドーム	11	7	0.069
ふれあいの森総合公園	16	21	0.081
宗像中央公園	2	5	1.27E-02
明天寺公園	2	4	0.278
自由ヶ丘第 11 号公園	2	5	0.101
日の里第 4.7.11 号公園	1	3	0.101
宗像市弓道場	1	0	1
終末処理場グラウンド	1	2	0.481
グローバルアリーナ	9	8	0.509

過去 2 年間でどのスポーツ施設を使用したことがあるかの選択率の年代差を表 17 に示しました。

高年が小さい施設は、市民体育館、アクアドーム、グローバルアリーナでした。

表 17 過去 2 年間の使用施設回答率年代差

施設	青年	中年	老年	P 値
市民体育館	13	12	7	4.15E-02
勤労者体育センター	1	2	3	0.130
玄海B.G海洋センター	3	5	2	0.331
小中学校の運動場など	7	8	7	0.858
宗像ユリックス	39	31	28	0.052
アクアドーム	11	12	4	1.41E-03
ふれあいの森総合公園	23	15	18	0.090
宗像中央公園	5	2	3	0.192
明天寺公園	3	3	3	0.827
自由ヶ丘第 11 号公園	4	2	4	0.236
日の里第 4.7.11 号公園	2	1	3	0.275
宗像市弓道場	1	0	1	0.503
終末処理場グラウンド	2	1	1	0.486
グローバルアリーナ	12	9	5	2.88E-02

使用したくない理由の選択率の性差を表 18 に示しました。
すべての理由で性差に有意な差は認められませんでした。

表 18 使用したくない理由回答率性差

理由	女性	男性	P 値
行える環境がない	5	8	0.169
家や職場から遠い	8	8	1
求める設備がない	0	1	0.339
駐車場が足りない狭い	0	0	1
施設の使用料が高い	3	4	0.842
手続きが困難	2	1	0.356
利用時間が合わない	7	7	1
利用方法がわからない	7	10	0.22
指導者がいない	1	1	1
仲間がいない	9	9	1
施設が古い	1	0	0.629
トイレが使用しづらい	1	0	0.502
自動販売機がない	0	0	NULL
夜間照明がない	0	0	0.461
同じ人が使用している	1	1	1
空いていない	0	0	1

使用したくない理由の選択率の年代差を表 19 に示しました。
老年が小さい理由は、利用時間が合わない でした。

表 19 使用したくない理由回答率年代差

理由	青年	中年	老年	P 値
行える環境がない	6	9	4	0.144
家や職場から遠い	8	8	8	0.985
求める設備がない	1	0	1	0.331
駐車場が足りない狭い	1	0	0	0.741
施設の使用料が高い	5	3	3	0.400
手続きが困難	2	2	1	0.571
利用時間が合わない	8	10	3	3.32E-03
利用方法がわからない	6	9	9	0.535
指導者がいない	1	1	1	0.880
仲間がいない	8	10	7	0.452
施設が古い	1	0	0	0.685
トイレが使用しづらい	1	0	0	0.741
自動販売機がない	0	0	0	NULL
夜間照明がない	1	0	0	0.281
同じ人が使用している	1	2	0	0.022
空いていない	1	0	0	0.539

スポーツ施設にとって重要だと思う項目の選択率の性差を表 20 に示しました。

女性で大きい項目は、使用料が適切である、申し込み手続きが簡単、施設の支払手続きが簡単、教室等の内容の充実度、新しい知識や情報、体力向上をメイン、健康づくり指導、雑談休息ができる空間、時間帯が自分に合う、職員の対応でした。

表 20 重要だと思うもの回答率性差

重要	女性	男性	P 値
交通の便が良い	50	45	0.179
施設設備が整っている	56	55	0.708
規模に適した駐車場	48	45	0.371
使用料が適切である	55	47	4.40E-02
申し込み手続きが簡単	43	28	1.01E-04
施設の支払手続きが簡単	29	14	2.42E-07

教室等の内容の充実度	29	11	4.99E-09
新しい知識や情報	12	7	1.55E-02
活動場所の把握	11	8	0.261
体力向上をメイン	16	7	1.55E-04
技術的な指導	12	9	0.147
健康づくり指導	21	14	1.07E-02
知り合いができる	11	11	0.904
雑談休息ができる空間	21	11	2.32E-04
時間帯が自分に合う	40	24	5.17E-06
職員の対応	26	13	1.57E-05

スポーツ施設にとって重要だと思う項目の選択率の年代差を表 21 に示しました。

高年で大きい項目は、技術的な指導、健康づくり指導で、小さい項目は、施設設備が整っている、規模に適した駐車場、使用料が適切である、申し込み手続きが簡単、施設の支払手続きが簡単、時間帯が自分に合う、職員の対応でした。

表 21 重要だと思うもの回答率年代差

重要	青年	中年	高年	P 値
交通の便が良い	49	45	49	0.625
施設設備が整っている	71	57	42	1.31E-09
規模に適した駐車場	45	53	42	3.36E-02
使用料が適切である	58	52	44	8.57E-03
申し込み手続きが簡単	44	36	30	5.03E-03
施設の支払手続きが簡単	28	23	17	8.06E-03
教室等の内容の充実度	21	25	17	0.093
新しい知識や情報	10	9	10	0.747
活動場所の把握	13	10	8	0.184
体力向上をメイン	7	12	14	0.072
技術的な指導	6	11	13	2.30E-02
健康づくり指導	9	18	23	3.51E-04
知り合いができる	10	10	12	0.581
雑談休息ができる空間	19	17	13	0.149
時間帯が自分に合う	37	43	18	2.63E-09
職員の対応	26	24	11	1.14E-05

どのような運動やスポーツの情報が欲しいかの選択率の性差を表 22 に示しました。

女性で優位に大きい項目は、各教室の案内、新しい気軽の情報でした。

表 22 欲しい情報回答率性差

情報	女性	男性	P 値
各教室の案内	37	20	1.22E-06
市内イベント情報	31	26	0.217
市外イベント情報	10	7	0.174
クラブなどの活動案内	22	17	0.135
スポーツ施設の案内	24	20	0.152
新しい気軽の情報	32	21	1.02E-03

どのような運動やスポーツの情報が欲しいかの選択率の年代差を表 23 に示しました。

高年で小さい項目は、各教室の案内、市外イベント情報でした。

表 23 欲しい情報回答率年代差

情報	青年	中年	高年	P 値
各教室の案内	28	35	25	2.89E-02
市内イベント情報	32	29	26	0.331
市外イベント情報	12	9	4	6.84E-03
クラブなどの活動案内	22	22	16	0.156
スポーツ施設の案内	24	25	18	0.161
新しい気軽の情報	25	32	24	0.385

情報をどのような方法で手に入れているかの選択率の性差を表 24 に示しました。

女性が大きかったのは、市の広報紙、市の公式 LINE でした。小さかったのは、市の公式 Facebook でした。男女ともに 50% 近くが市の広報紙から情報を得ていました。

表 24 情報収集回答率性差

情報	女性	男性	P 値
市の広報紙	54	46	2.10E-02
市の公式 LINE	17	11	3.25E-02

市の公式 Facebook	1	3	2.82E-02
市の公式 Instagram	3	2	0.342
市の公式 X	1	1	1
市の公式ホームページ	10	12	0.473
市スポーツセンター HP	1	2	0.153
市スポーツ協会の HP	0	2	0.100
テレビケーブルテレビ	4	5	0.373
新聞雑誌	7	9	0.327
チラシポスター	20	16	0.207
所属団体やクラブから	3	5	0.237
知り合いの口コミ	19	13	0.054

情報をどのような方法で手に入れているかの選択率の年代差を表 25 に示しました。

青年では市の広報紙が小さく、高年では市の公式 LINE、市の公式 Instagram、市の公式 X、テレビケーブルテレビが有意に小さい結果でした。

表 25 情報収集回答率年代差

情報	青年	中年	高年	P 値
市の広報紙	34	58	55	3.84E-07
市の公式 LINE	16	20	7	1.05E-04
市の公式 Facebook	2	3	0	0.093
市の公式 Instagram	5	2	1	1.38E-02
市の公式 X	3	1	0	1.69E-02
市の公式ホームページ	8	14	10	0.194
市スポーツセンター HP	2	1	1	0.904
市スポーツ協会の HP	1	0	2	0.121
テレビケーブルテレビ	9	2	3	3.19E-03
新聞雑誌	7	7	9	0.473
チラシポスター	20	18	16	0.532
所属団体やクラブから	4	2	5	0.385
知り合いの口コミ	15	11	22	3.71E-03

名称、取り組み内容を知っているかの選択率の性年代差を表 26 に示しました。

アクアドームの取り組み性差だけに有意が認められました。両方知らないが 70%を超えているのは、市スポーツセンター、

市スポーツ協会、南の郷クラブでした。

表 26 名称取組回答率性年代差

アクアドーム	女性	男性	P 値
取組	24	17	1.73E-02
名称	56	55	
名称取組	7	7	
両方知らない	13	22	
P 値 NULL	青年	中年	高年
取組	14	23	25
名称	57	59	50
名称取組	8	7	7
両方知らない	21	12	18
グローバルアリーナ	女性	男性	P 値
取組	17	15	0.668
名称	68	68	
名称取組	6	6	
両方知らない	8	10	
P 値 NULL	青年	中年	高年
取組	12	17	19
名称	71	70	64
名称取組	7	6	7
両方知らない	10	7	11
市スポーツセンター	女性	男性	P 値
取組	2	1	0.747
名称	8	7	
名称取組	0	1	
両方知らない	90	91	
P 値 0.231	青年	中年	高年
取組	1	1	3
名称	5	7	11
名称取組	1	0	0
両方知らない	93	92	86
市スポーツ協会	女性	男性	P 値
取組	5	3	0.682
名称	17	20	
名称取組	2	1	
両方知らない	76	76	
P 値 0.201	青年	中年	高年

取組	4	4	5
名称	14	19	21
名称取組	1	1	3
両方知らない	81	76	71
宗像ユリックス	女性	男性	P 値
取組	24	19	0.412
名称	61	66	
名称取組	8	7	
両方知らない	7	8	
P 値 NULL	青年	中年	高年
取組	15	25	24
名称	68	63	60
名称取組	8	7	8
両方知らない	9	6	8
南の郷クラブ	女性	男性	P 値
取組	2	2	0.682
名称	11	8	
名称取組	0	1	
両方知らない	88	89	
P 値 0.386	青年	中年	高年
取組	1	1	3
名称	11	11	7
名称取組	0	0	1
両方知らない	88	88	89

始めるのに重要なきっかけの選択率の性差を表 27 に示しました。

女性で大きかったのは、公共スポーツ施設実施、子どものための情報、初めて気軽に参加でした。

表 27 子どもきっかけ回答率性差

きっかけ	女性	男性	P 値
幼児時期から外で遊ぶ	63	58	0.170
保育園幼稚園	49	45	0.234
小学校放課後の活動	46	46	1
公共スポーツ施設実施	29	21	1.30E-02
中学校放課後の活動	31	30	0.871
トップスポーツ選手と	22	22	0.723
子どものための情報	24	17	2.05E-02

初めて気軽に参加	43	30	2.81E-04
----------	----	----	----------

始めるのに重要なきっかけの選択率の年代差を表 28 に示しました。

青年で大きかったのは、幼児時期から外で遊ぶ、保育園幼稚園でした。

表 28 子どもきっかけ回答率年代差

きっかけ	青年	中年	高年	P 値
幼児時期から外で遊ぶ	71	60	54	8.75E-04
保育園幼稚園	58	48	38	1.46E-04
小学校放課後の活動	46	52	40	1.69E-02
公共スポーツ施設実施	24	26	26	0.875
中学校放課後の活動	28	37	26	1.63E-02
トップスポーツ選手と	22	25	22	0.713
子どものための情報	17	25	18	0.094
初めて気軽に参加	35	40	35	0.476

3人以上の団体を活動しているかの選択率の性差を表 29 に示しました。あるなし共に有意な性差は認められませんでした。

表 29 3人以上活動回答率性差

活動	女性	男性	P 値
団体活動あり	13	12	0.734
団体活動なし	75	77	0.664

3人以上の団体を活動しているかの選択率の年代差を表 30 に示しました。

高年で団体活動ありが有意に大きく、青年で団体活動なしが有意に大きい結果でした。

表 30 3人以上活動回答率年代差

活動	青年	中年	高年	P 値
団体活動あり	6	14	16	4.86E-03
団体活動なし	88	81	62	5.31E-11

はじめるうえで何を重視するかを選択率の性差を表 31 に示しました。

女性で有意に大きかったのは、毎月の月謝などの金額、教室の回数や時間帯、送迎距離、必要の有無、スキル目的に合った教室でした。

表 31 はじめるうえで重視回答率性差

重視	女性	男性	P 値
毎月の月謝などの金額	77	53	2.74E-11
教室の回数や時間帯	63	39	1.21E-10
送迎距離、必要の有無	57	39	8.51E-07
指導者の指導のレベル	32	30	0.575
競技を体験する機会	16	16	0.839
身体的特性を知る機会	16	14	0.533
教室の会員数	5	4	0.714
スキル目的に合った教室	41	27	1.18E-04

はじめるうえで何を重視するかを選択率の年代差を表 32 に示しました。

高年が小さかったのは、毎月の月謝などの金額、教室の回数や時間帯、送迎距離、必要の有無でした。

表 32 はじめるうえで重視回答率年代差

重度	青年	中年	高年	P 値
毎月の月謝などの金額	78	74	49	3.36E-12
教室の回数や時間帯	61	64	33	8.52E-14
送迎距離、必要の有無	58	56	34	1.50E-08
指導者の指導のレベル	34	34	27	0.144
競技を体験する機会	19	15	15	0.362
身体的特性を知る機会	18	14	14	0.346
教室の会員数	5	4	4	0.871
スキル目的に合った教室	34	39	30	0.120

はじめるうえで困っていることを選択率の性差を表 33 に示しました。

有意な性差は認められませんでした。

表 33 はじめるうえで困っていること回答率性差

困っていること	女性	男性	P 値
教室がどこで実施	32	29	0.465
やりたい教室がない	12	10	0.553
設備が整っていない	5	5	1

はじめるうえで困っていることを選択率の年代差を表 34 に示しました。

高年においてすべてで有意に小さい結果でした。

表 34 はじめるうえで困っていること回答率年代差

困っていること	青年	中年	高年	P 値
教室がどこで実施	39	29	25	2.62E-03
やりたい教室がない	13	16	5	1.34E-04
設備が整っていない	8	5	3	2.55E-02

どの程度スポーツ観戦をしているかを選択率の性差を表 35 に示しました。

有意な性差は認められませんでした。

表 35 スポーツ観戦頻度回答率性差

観戦頻度	女性	男性	P 値
1 回以上直接	18	20	0.555
テレビ放送配信	37	39	
なし	7	9	
興味あり観戦なし	13	11	
興味なし観戦なし	25	21	

どの程度スポーツ観戦をしているかを選択率の年代差を表 36 に示しました。

P 値が計算されませんでした。

表 36 スポーツ観戦頻度回答率年代差

観戦頻度	青年	中年	高年	P 値
1 回以上直接	21	26	10	NULL
テレビ放送配信	31	33	49	
なし	5	2	15	
興味あり観戦なし	14	11	11	
興味なし観戦なし	29	28	15	

市内でスポーツ観戦をしたかの選択率の性差を表 37 に示しました。

有意な性差は認められませんでした。

市内での観戦は男女ともに 10%未満でした。

表 37 市内観戦回答率性差

市内観戦	女性	男性	P 値
なし	74	73	0.336
市内ある	5	8	
市内ない	21	20	

市内でスポーツ観戦をしたかの選択率の年代差を表 38 に示しました。各年代とも市内での観戦は 10%未満でした。

P 値が計算されませんでした。

表 38 市内観戦回答率年代差

市内観戦	青年	中年	高年	P 値
なし	75	69	77	NULL
市内ある	5	7	6	
市内ない	20	24	17	

市内でスポーツ観戦しない理由の選択率の性差を表 39 に示しました。

男性でいつどこかわからない、女性で競技.種目.がないで有意な性差を認めました。

表 39 市内観戦しない理由回答率性差

観戦しない理由	女性	男性	P 値
いつどこかわからない	13	18	3.76E-02
競技.種目.がない	16	10	1.54E-02
高レベルの試合がない	7	8	0.484
客席駐車場が足りない	3	2	0.312
時間日程が合わない	9	6	0.167

市内でスポーツ観戦しない理由の選択率の年代差を表 40 に示しました。

高年で客席駐車場が足りない理由で、有意な差が認められました。

表 40 市内観戦しない理由回答率年代差

観戦しない理由	青年	中年	高年	P 値
いつどこかわからない	14	13	18	0.282
競技.種目.がない	10	18	12	0.030
高レベルの試合がない	9	8	6	0.505
客席駐車場が足りない	0	2	4	8.00E-03
時間日程が合わない	8	10	5	0.064

どのような取り組みがあると来場したいと思いますかの選択率の性差を表 41 に示しました。

女性で文化を体験、飲食.キッチンカーで大きく、男性で必要ないが大きいと有意差が認められました。

表 41 イベント取り組み回答率性差

イベント取り組み	女性	男性	P 値
子ども向け	23	19	0.203
ルールの分かる	23	21	0.53
競技を体験	78	82	0.229
チームや選手を紹介	19	16	0.282
文化を体験	21	11	3.68E-04
飲食.キッチンカー	27	19	1.02E-02
必要ない	11	17	1.27E-02

どのような取り組みがあると来場したいと思いますかの選択率の年代差を表 42 に示しました。

高年において、子ども向け、競技を体験、飲食.キッチンカーが小さく、有意差が認められました。

表 42 イベント取り組み回答率年代差

イベント取り組み	青年	中年	高年	P 値
子ども向け	33	27	7	9.15E-14
ルールの分かる	25	20	22	0.56
競技を体験	28	23	12	9.67E-05
チームや選手を紹介	15	20	18	0.334
文化を体験	15	19	14	0.300
飲食.キッチンカー	22	31	16	3.55E-04
必要ない	12	12	17	0.147

無料の貸し出しサービスがあることを知っているかの選択率の性差を表 43 に示しました。

性差は認められませんでした。

男女とも知らないが 85%以上ありました。

表 43 貸出サービス回答率性差

貸出サービス	女性	男性	P 値
既知利用なし	8	11	0.562
既知利用あり	5	4	
知らない	86	85	

無料の貸し出しサービスがあることを知っているかの選択率の年代差を表 44 に示しました。

P 値が計算されませんでした。

各年代知らないが 80%以上ありました。

表 44 貸出サービス回答率年代差

貸出サービス	青年	中年	高年	P 値
既知利用なし	9	7	13	NULL
既知利用あり	1	7	6	
知らない	90	87	81	

無料の貸し出しサービスを利用したことがない理由の選択率の性差を表 45 に示しました。

性差は認められませんでした。

すべての項目で回答率が 6%以下でした

表 45 利用したことがない理由回答率性差

利用なし理由	女性	男性	P 値
使用方法がわからない	2	4	0.094
場所がわからない	1	2	0.401
借用方法がわからない	2	5	0.059
平日の日中のみのため	2	1	0.561
思う備品がない	4	6	0.236

無料の貸し出しサービスを利用したことがない理由の選択率の年代差を表 46 に示しました。

年代差は認められませんでした。

すべての項目で回答率が 6%以下でした。

表 46 利用したことがない理由回答率年代差

利用なし理由	青年	中年	高年	P 値
使用方法がわからない	2	2	3	0.434
場所がわからない	3	1	2	0.506
借用方法がわからない	2	4	4	0.459
平日の日中のみのため	3	1	1	0.074
思う備品がない	5	4	6	0.754

利用したい貸し出しサービスの選択率の性差を表 47 に示しました。

女性ではバドミントン、卓球、男性では野球、サッカー、グラウンドゴルフが大きく、有意な差が認められました。

表 47 利用したい貸出サービス回答率性差

利用したい	女性	男性	P 値
野球	10	17	2.69E-03
サッカー	4	11	4.84E-04
テニス	23	23	1
バスケットボール	10	12	0.400
バレーボール	11	7	0.065
バドミントン	39	18	3.26E-10
卓球	24	16	1.18E-02
柔道衣、剣道衣など	1	2	0.153
ドッジボール	7	5	0.432
縄跳び	5	3	0.206
グラウンドゴルフ	6	13	1.45E-03
ボッチャ	5	3	0.191
モルック	4	5	0.725

利用したい貸し出しサービスの選択率の年代差を表 48 に示しました

高年でグラウンドゴルフ、ボッチャ、モルック以外が小さく、有意な差が認められました。

表 48 利用したい貸出サービス回答率年代差

利用したい	青年	中年	高年	P 値
野球	24	11	7	4.92E-07
サッカー	16	7	2	2.41E-08

テニス	32	27	12	4.95E-08
バドミントン	21	10	3	2.10E-09
バレーボール	17	10	1	7.97E-10
バドミントン	46	35	10	1.59E-19
卓球	21	26	13	6.88E-04
柔道衣・剣道衣など	2	2	0	4.12E-02
ドッジボール	11	6	2	3.27E-05
縄跳び	8	5	1	5.19E-04
グラウンドゴルフ	8	9	10	0.809
ポッチャ	3	5	4	0.690
モルック	6	4	4	0.410

4. 考察

高年は青年中年に比べ男性回答者多いことから、年代別に回答内容を考慮する必要があると考えました。また、性別では市統計の分布と一致していますが、回答者の54%が女性であることから性別も考慮する必要があると考えました。

質問を「経験（問8）」「理由（問9～10）」「環境（問11～15）」「施設（問16～19）」「情報（問20～22）」「子ども（問23～26）」「観戦（問27～30）」「貸出（問31～33）」に分け、性差年代差の検討を行いました。

「経験」において、今後始めたい種目で10%以上の回答を得た種目は、女性ではウォーキング、ダンス、ヨガ・エアロビクス、男性ではウォーキング、青年ではバドミントン、ダンス、ヨガ・エアロビクス、中年ではウォーキング、ヨガ・エアロビクス、高年ではウォーキング、でした。女性の回答者が多いことから、ダンス、ヨガ・エアロビクスが多いと推測されます。ウォーキングは費用時間場所などの制約条件が少なく実践できる運動やスポーツとしてとらえられていると思います。注意する点は散歩にならないことです。運動の強度時間頻度をコントロールすることが重要です。

「理由」において、50%以上選択された項目は健康・体力づくり、楽しみ・気晴らし、運動不足解消（女性）であり、運動・スポーツを行う理由は主に自分の身体的なことについてでした。

行う（始める）ことができる条件では、経済面や自由に使える時間が増えることでした。青年中年においては、自ら時間を作ることができるか、高年では気軽に参加できるかがポイントと考えられます。

「環境」において、40%近くが、最寄りの公園・広場などで

施設の利用は20%未満と少ない傾向でした。行っていないと回答した人が25%（4分の1）近くあり、未実施の人に、性別年代別に実践を促す施策の検討が必要と思われます。

「施設」において、性別年代別ともに30%（3人に1人）近くが宗像ユリックス（スポーツ施設としての利用）と、20%近くはふれあいの森と回答していました。最寄りの公園・広場などとは、宗像ユリックス（スポーツ施設としての利用）やふれあいの森であると推測されます。

利用したくない理由では、家や職場から遠い、時間が合わない、利用方法がわからない、仲間がいない でした。距離や時間の問題は解決が難しいと考えられますが、利用方法の周知や、1人でも利用できる（利用施設で仲間ができる）ことなどの案内は可能と思われます。

スポーツ施設にとって重要と思うことでは、交通の便が良い、施設設備が整っている、適した駐車場、使用料が適切であるが、50%近くの回答でしたが、設備・駐車場・料金は各個人で基準が異なるため対応できるのは、交通の便（自家用車利用ではなく公共交通機関）の改善と考えられます。

「情報」において、欲しい情報は市外イベント以外が20～30%あり、身近な情報を欲していることがうかがえます。

情報収集の方法としては、市の広報誌が50%近く、チラシポスター、知り合いからが20%近くでした。近年の情報発信方法としてのホームページやSNSはほとんどなく、紙媒体での発信を再検討する必要があると感じました。

名称取組の認知について、70%近くが知らない組織団体は、市スポーツサポートセンター、市スポーツ協会、南の郷クラブであり、市全域への紙媒体による広報が必要と思います。

「子ども」において、始めるきっかけでは、幼児期から外で遊ぶが50%以上ありますが、保護者同伴が必要であり安全管理上第三者の監視も必要であることを考慮すると保育園幼稚園での活動の量を増やすことが重要と思います。

はじめるうえで重視することは、女性・青年・中年で、金額・回数・時間帯・距離が50%を超えていることを考えると小学校や中学校での公共の教室を開催することを検討してもよいかもしれません。

困っていることでは、どこで実施されているのかがわからない回答が30%近くありました。このことでも紙媒体での広報が必要かもしれません。

「観戦」において、スポーツ観戦頻度では、興味なし観戦なしが、25～30%であり、また、市内観戦なしが70%以上であることから、スポーツに関心を持ってもらうことから始

める必要あると思います。

市内観戦しない理由として、日時場所の情報がないことが20%弱あり、紙媒体での広報が必要かもしれません。

イベント取組では、競技体験が80%近くありました。興味のある種目では体験が必要と感じます。

「貸出」において、貸出サービスを知らないと回答した人は85%以上で、このことから紙媒体での広報が必要かもしれません。

利用したい貸出サービスの種目は、現在行っている種目であることが推測されます。

5. まとめ

第3期宗像市スポーツ推進計画の作成参考資料として、市民協働部文化スポーツ課が2024年2月に紙面とインターネットで市民の意識アンケート調査を行いました。

属性データがそろっている市人口の0.75%である725人を対象としました。

回答者の人数と宗像市人口統計との男女分布、年代分布における適合度は一致しました。

今後始めたい種目としては、ウォーキング、ダンス、ヨガ・エアロビクスなどの個人スポーツが多く、対人スポーツや団体スポーツを避ける傾向がありました。

健康・体力づくり、運動不足解消を理由に運動やスポーツを行う意識は浸透していると思われます。

運動やスポーツを行う理由において、女性では、運動不足解消、美容・ダイエット、男性では、心身の修行・鍛錬、地域での交流と性差が現れました。

施設利用に関して重要な項目としては、交通の便が挙げられ、公共交通の充実が望まれます。

広報の手段に関しては、インターネットやSNSなど受け手側が自ら収集する手段ではなく、紙媒体を通じて通知される情報を望んでいることが示唆されました。

市民の健康増進・健康寿命の延伸に寄与する良いスポーツ推進計画の作成のために、アンケート結果の分析を確認していただき、審議委員からの提案の一助になれば幸いです。

以上

2024年5月31日

スポーツ推進審議委員：末永

<参考資料>

- 1) Kanda Y. Investigation of the freely available easy-to-use software 'EZR' for medical statistics. Bone Marrow Transplant.2013;48:452-8.
- 2) <https://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/download.html>